

中津川市 教育方針
めざす姿「よりよいひとりだち」
方針「生活・学習における基礎基本の習得とたくましい子の育成」
(知識と知恵) → (生き抜く力)
①機能する組織 ②面倒見のいい先生 ③身につくまで

学校の教育目標

かがやけ 坂本の子

かしこく やさしく たくましく

児童の実態

○素朴で素直な子が多い
○課題が明確であれば、進んで取り組める
○地域行事等に参加する児童が多い
△学習意欲や学力の個人差が大きい
△規律の面で弱さのある児童がいる

地域・保護者の実態

- ・地域をあげての協体制が整えられている
- ・様々な事情の家庭が存在する

合い言葉

「かがやきキラリ」あふれる学校

2027年リニア駅開設予定

- ・今後大きく変わる町並み
- ・歴史・伝統と最先端の技術
- ・故郷の良さを継承する取組

【坂本小の3つの宝】

①聞く・話す

②あいさつ

③掃除

かがやきキラリ (仲間の良さ見つけと自分の宝物見つけ) を全ての活動の核として位置付け

【たしかな学力づくり】

◎話をよく聞き、自分の考えを自信もって発表できる子

学習部

- ①基本的な学習習慣の確立
 - ・「聞く」「話す」
 - ・家庭学習の定着 (予習・復習) 半X10分
- ②授業改善—工夫ある授業づくり
 - ・子どもの主体性を伸ばす授業
- ③学力の基礎基本の確実な定着
 - ・できるまで、分かるまで粘り強く指導

・「授業に進んで取り組む」「授業がよくわかる」回答85%↑
・「話をしっかり聞ける」↑90%

【やさしい心づくり】

◎仲間の良さに目を向け、お互いに認め合い、高め合える子

生活部

- ①基本的生活習慣の確立
 - ・時と場に応じた気持ちのよい挨拶
 - ・正しい言葉遣い(ほんわか言葉◎チクチク言葉X)
- ②いじめ事案の徹底した早期発見・早期解決
 - ・「思いやりの心を醸成し、いじめの芽撲滅
- ③問題行動に対する全校体制での組織対応
 - ・情報の共有

・いじめ早期発見・早期解決 100%再発率0%
・「自分から進んであいさつできる」回答90%↑

【たくましい体づくり】

◎健康や安全な生活に心がけ、心も体も元気な子

健康安全部

- ①安全・安心な学校づくり
 - ・美しく、整った環境作り
 - ・最後まで黙ってやりきる掃除
- ②充実した教育相談体制づくり
 - ・個別支援会議・生徒指導事例研の開催
 - ・「心のアンケート」「児童アンケート」「Q-Uアンケート」の励活

→不登校、不適応傾向の児童への早期対応

・不登校児童出現率0.5以下(千分率)4人以下
・「掃除が黙ってできる」回答90%↑

【研究主題】

「主体的に授業に取り組む児童の育成～UDの授業を基盤とし、基礎的・基本的な力を高める～」

- ①学習指導の工夫 ②指導方法の工夫
- ③手立ての工夫

【学力向上の一点突破】

半具體物・図を活用しての課題解決(80%)

【居場所づくり・絆づくり】

①仲間と共に活動を精一杯創り上げるすばらしさの体感
「一生懸命がかっこいい」を合い言葉に「縦割活動」の充実

②子どもの主体性を伸ばす活動を仕組み、自分で決めるやりきらせる取組の充実(一人一役・児童会の充実)

③仲間の良さ見つけの位置付けと価値付け
・「かがやきキラリ」「宝物ファイル」の実践

◎役割を責任もって果たし、自分のことが好きだと言える子

特別活動部

「学校は楽しい」「みんなで何かをすることは楽しい」「自分によいところがある」回答85%↑

【学校評価】(P-D-C-Aサイクルを生かした学校経営の推進)「今年度より児童アンケートを3回実施」

□学校関係者評価(保護者・児童)→達成度の見直し・実践→□自己評価 □学校関係者評価(保護者・児童)(学校評議員会)→次年度の重点

連携

保護者 地域

【家庭とつながる・家庭と共に歩む学校】 【地域から学ぶ・地域を学ぶ学校】

○「かがやきキラリ」の家庭における実践と協力 ○地域の歴史や産業から学ぶ体験活動への支援

○中津川「学力アッププログラム」の実践と協力 ○安心、安全で豊かな教育環境整備への協力、支援

○家庭の教育力の向上 学習習慣・生活習慣 ○坂本事務所、坂本交番友の会、市福祉課等との連携

【坂本小学校が目指す教師】

- 常に子どもにつき、小さな変化も見逃さず、褒めて伸ばす教師
- 子ども、保護者、地域との信頼関係の貯金を積み重ねを惜しまない教師
- 一枚岩となり、組織で対応、チームワークを大切にする教師
- 個の能力や特性を正しく理解し、粘り強く援助を行う教師